

Albirex Racing Team

2017 スーパーFJ 東北シリーズ
第3戦 レースレポート



2017/9/24



新潟日報



大会概要

2017 スーパーFJ 東北シリーズ 第3戦

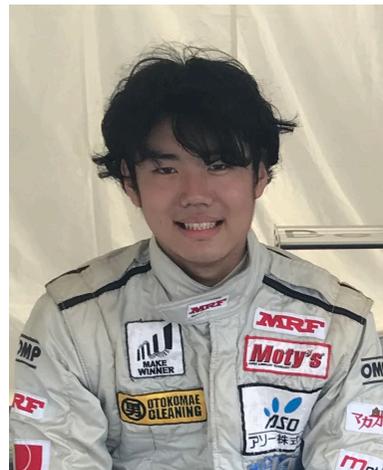
大会名所

2017 東北SUPER FJ地方選手権シリーズ第3戦

開催日

9月21日 土曜日～9月23日 日曜日

参戦ドライバー



#35
メイクウィナー-GIAアルビED
傳野 遼太郎



#36
アルビビヨンドOJMGIAED
大類 康幸



新潟日報



【公式予選結果】

Weather:Rain

Track:Wet

#36	アルビ玉三郎GIA湯田上ED	大類 康幸	4位
#35	アルビビヨンドOJMGIAED	傳野 遼太郎	5位

【公式決勝結果】

Weather:Rain

Track:Wet

#36	アルビ玉三郎GIA湯田上ED	大類 康幸	2位
#35	アルビビヨンドOJMGIAED	傳野 遼太郎	4位



RACE REPORT

S-FJ 公式予選

2017/09/23

予選開始：11:00

スーパーフォーミュラーと併催となったS-FJ東北シリーズ第3戦。今回練習生の傳野選手がレース初参戦となった。練習走行ではマシンにダメージを与え、十分な練習ができないまま予選を迎えた。まず大類選手がコースインしタイムアタックを開始。一時はトップタイムを記録するも徐々に後退し4番手で予選を終える。傳野選手は十分な練習が出来ず挑んだ予選だったが自己ベストを更新しながらチェッカーとなり5番手グリットとなった。



S-FJ 公式決勝

2017/09/23

決勝開始：16:00

全5台出場となった決勝本番、スタートでは大類選手のスタートが若干出遅れたが、3コーナーまでには3番手の選手のインを刺しに掛かるも抜くには至らずファーストラップを終える。その後4周目に2番手の選手がコースアウトし大類選手が3番手に浮上。その後も2番手の選手と2位争いを繰り広げる中、2番手の選手が大類選手のプレッシャーに耐えられずスピンコースアウトし大類選手が2番手に上がりその後も1番手の選手を追い上げファステストタイムを記録するも2番手チェッカーでレースを終える。傳野選手はスタートの際出遅れてしまうが、着実にベストラップを更新しトップから5秒落ちのタイム記録するもラスト2周目に最終コーナーでクラッシュしてしまいレースを終える。



MOTOR FREAK

P PLUS



Nankai Plus.Co.,LTD.

鈴木会計
埼玉・川口
<http://www.tkcni.com/sds>

Moty's
HYPER LUBRICANT TECHNOLOGY



新潟日報

たわら屋

AUTO
NIIGATA
SYSTEM



大類選手コメント

練習から予選までセットアップに苦しみ中々タイムが出ませんでした。決勝での大幅なマシンのセッティング変更で車のペースが良くなりました。2位で終わってしまいましたが、ファストテストタイムを記録する事ができました。この調子で細かい所まで見直せばもっと速い車を作れると思います。次戦は優勝できるように頑張ります。

傳野選手コメント

波乱のレースウィークでしたが、なんとか完走という結果で終わることができました。改めてモータースポーツはチームスポーツだと気づかされました。サポートして頂いたチームの皆さん本当にありがとうございました。

中村監督コメント

この度は関係者様、ファンの皆様応援して頂きありがとうございます。今回の東北シリーズはスーパーフォーミュラーと併催という事もありいつもとは違った空気にドライバーも少し緊張気味でした。レース予選では大類選手は思った通りのタイムを出せず厳しいレース展開となりましたが、なんとかレース決勝ではファステストタイムを記録し2番手チェッカーでレースを終えることが出来ました。傳野選手は練習走行から初めてのマシンに戸惑いながらも着実に周回数を重ねておりましたが、最終コーナーでスピンしてしまい、その影響でマシンにダメージを負い十分な練習も出来ないままレース当日を迎えましたが、レースではぶっつけ本番ながらトップから5秒落ちのタイムを記録するなど目を見張る程の成長があり、もしもしっかり練習が出来ていればと思わずにはいられません。今回の経験を活かし成長してくれると思います。来週は東北シリーズ最終戦で大類選手はシリーズチャンピオンが掛かっておりますのでチーム一丸となって来週の東北シリーズ最終戦に挑みたいと思います。



Nankai Plus.Co.,LTD.



新潟日報

